

オリパラ教育「実践報告会（地域ワークショップ）」を開催しました。

2月9日、松江合同庁舎において、今年度のオリパラ教育推進校による実践報告に併せ、オリパラ教育に関する講演を行いました。

今年度の推進校担当者のほか、市町教育委員会、「よい、ドン！スクール」認証校、報道機関からの参加がありました。全国中核拠点の筑波大学とはオンラインで結び、各校の特色ある取組を共有することができました。



<実践報告>

※ 各校発表スライドの一部を掲載しています。

オリパラ推進事業では、ありますが！
子どもたちにとっての大きな学び
↓
パラアスリートの生き方や考え方を毎年学べる仕組みを

松江市立出雲郷小学校

5年生がパラアスリートとの交流、パラスポーツに関する調べ学習に取り組む。調べ学習では、それぞれが一人のパラリンピック選手に焦点を当て、調べたことを紙芝居形式で3年生に発表。障がいやパラ競技への理解を深める。

講演「オリーブアスリートのメッセージ」
講演 文様 五ノ字平五輪 林朝陽 池田 幸子(ゲスト)
「高松市立出雲郷小学校」が、今年度オリパラ教育推進校として、オリパラ教育に取り組んでいます。その中で、子どもたちが、パラアスリートと交流し、調べ学習を通じて、障がいやパラ競技への理解を深め、社会参加の意識を高めています。また、子どもたちが、調べたことを紙芝居形式で発表し、他の子どもたちに伝えることで、理解を深め、社会参加の意識を高めています。

松江市立湖南中学校

3年生がオリンピック・パラリンピックについて学習。オリンピックによる講演会、子どもの発達と運動プログラムの普及に努めている講師による講演会を実施。書籍も整備し、オリンピック・パラリンピックの魅力について学ぶ。

「オリパラ教育推進校」
オリパラ教育実践校「よい、ドン！スクール」
として
オリンピック・パラリンピック
そのものについての学び
オリンピック・パラリンピック
を通じた学び
今だからこど！今でしか！

大田市立久屋小学校

教育活動のあらゆる場面でオリパラ教育を推進。オリンピック・パラリンピアンとの交流及び講演会を実施。パラ競技にも挑戦。また、親子でスポーツ・レクリエーション活動にも取り組む。東京大会への機運醸成を図るとともに、異文化理解等の推進にもつなげる。

親子体験
親子で体験する
親子で体験する
親子で体験する

大田市立第三中学校

オリンピック・パラスポーツ選手との交流及び講演会を実施。また、パラスポーツにも挑戦。オリンピック・パラリンピックの理念や価値を学ぶ。パラスポーツについての調べ学習も進め、障がいやパラ競技、共生社会への理解を深める。

児童の将来とスポーツの関わり
スポーツで「人生」が変わる。
・スポーツをする「みる」姿を変えることでみんなが
スポーツの良さを享受できる
→「世界共通の人類の文化」
スポーツで「社会」を変える。
・スポーツの価値を共有し人々の意識が変わることで
社会の発展に寄与できる
→スポーツで社会の課題解決に取り組む

邑南町立日貫小学校

パラリンピアンとの交流、親子でパラスポーツ体験を実施。パラリンピックの理念や価値を学ぶとともに、福祉教育への理解を深める。また、スポーツ・レクリエーションやダンスエアロにも挑戦し、スポーツを楽しむ心を醸成する。

実践5 自分たちができることを地域へ
実践5 自分たちができることを地域へ
実践5 自分たちができることを地域へ

益田市立美都中学校

パラリンピアンとの講演及び交流、パラリンピアンとのビデオレター交流や東京大会の応援旗作成に取り組む。図書や掲示物の充実、体育祭や文化祭等において生徒が主体となって情報発信。教育活動のあらゆる場面でオリパラ教育を推進。

益田市の区・町・村から学ぶ
【ポッチャ体験】
ポッチャ体験
ポッチャ体験

吉賀町立柿木小学校

パラリンピアンとの交流及びパラスポーツ体験を実施。図書及び掲示物を充実したり、パラスポーツ体験を教職員で事前に実施したりするなど、学校全体でオリパラ教育を推進。地域にも情報発信し、学校全体で福祉教育の推進を図る。

<講演>

2008年の北京オリンピックと2012年のロンドンオリンピックの柔道に日本代表として出場した筑波大学体育系体育センター助教の平岡拓晃氏を講師に、オンラインでの講演会を開催しました。

「本当の失敗は失敗と向き合わないことである。」と、輝かしい栄光の裏に並々ならぬ努力があったことについて経験をもとに語られました。そして、柔道を通じて学んだこととして「自分と向き合う勇気、感謝の気持ちを持つこと、目標を持つことの大切さ、失敗=成長、孤独を知ることの大切さ」を紹介され、最後に「事実を変えることはできないが、真実はこれからつくることができる。」とメッセージを送られました。

今回の講演を通じてオリンピック・パラリンピックへの興味関心を高めるとともに、人としての生き方・あり方も学ぶことができ、参加者は興味深く聴き入っている様子でした。



<参加者感想より>

- ・トップアスリートだからこそ、伝えられるものがあると思いました。言葉の大切さを改めて感じました。
- ・「本物の力」を感じました。学校にいる生徒たちにも聞かせたくなりました。「幸運」のとなえ、心に残りました。
- ・これまでの自分を振り返りました。「失敗=成功のチャンス」となった場面がいくつかあり、「幸運」の解釈を聞いてとても納得しました。
- ・「自分と向き合うこと」の大切さを強く感じました。とても学びの多い講演でした。
- ・第一人者の方の言葉は一つひとつ重みがあり、大変勉強になりました。もっと多くの先生方に聞いてほしいと思える講演でした。子どもたちにもぜひ聞かせたい内容でした。
- ・「失敗は大丈夫。」ということを生徒に伝えていきたいと思いました。目標に対して今できることは何かを考えていきたいと思います。
- ・トップアスリートとの出会いは子どもたちにとって大きな影響を与えるので、そのような機会が増えるとよいと思いました。

1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が近づいてきました。オリパラ教育は、大会そのものへの興味関心の向上だけでなく、オリパラを題材としてスポーツの価値、国際・異文化理解、共生社会への理解を深めるなど、多面的な教育的価値を持ちます。

来年度も本事業を実施する予定です。新しい生活様式に対応したオリパラ教育(オンラインによるアスリート派遣等)も取り入れながら、今後もより多くの学校現場で実践が進むよう支援してまいります。